

今年の夏は、子どもも大人も 夢中になれることを見つけてみませんか

多摩川自然情報館



住所: 染地3-8-26 開館日: 毎日(年末年始、臨時休館日を除く)
開館時間: 午前9時~午後5時 入場料: 無料
※解説員は土・日曜日、祝日、7月22日~8月30日の平日に対応可

市内には、子どもも大人も気軽に楽しく学べ、貴重な体験ができる魅力的なスポットがたくさんあります。
今回は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する環境学習施設、多摩川自然情報館をご紹介します。館内には多摩川の魚や植物、昆虫などの実物が見られる展示室、自然環境に関する本をそろえた学習室があります。ほかにも、子どもの頃に夢になった経験を活かし、スペシャリストとして働く解説員もいます。夏休みに行ってみてはいかがでしょうか。

スペシャリストに聞きました! // 夢中になっているものの魅力はなんですか?

「好きこそもの上手なれ」というのは
至極名言だと思います

就学前に出掛けたキャンプで、蛾を採集し名前を調べたのが、蛾に夢中になるきっかけです。それぞれの生き物が、多種多様な外観や生態、行動などを持っていて、見ていて飽きないし、面白いです。

現在、仕事では生物を中心とした環境調査、個人活動では生物の分布調査や記録・観察会の実施などを行っています。学生時代は、今は亡き祖母に「そんなに虫ばかり取って将来どうなるのか」と心配されていましたが、社会人になって、図鑑などの出版に関わるようになりとても喜んでくれたことが一番うれしかったです。

まずは、気になることや興味があることに手を出してみることだと思います。人の目や言動にとらわれず、続けていきたい、これだけは負けたくないと思えるものがあれば、それを続けていくと良いと思います。

多摩川自然情報館解説員
蛾の帝王 石川さん



流れのない水辺に
生息している
アカハライモリ



多摩川自然情報館では
何をしていますか?

展示室でムカシツチガエルを
飼育しています

現在、ニホンアカガエルと一緒に展示中です。シュツとイケメンのニホンアカガエルに比べて、のほほんとしたムカシツチガエルがなんとも可愛くて、夢中になっています。

多摩川自然情報館解説員
紺野さん



生き物に合わせた餌を与えて
飼育することが大切です

展示用の魚とり、展示している生き物に餌やり・水槽の清掃などを行っています。多摩川へ行き、投網やタモ網などを使って魚を採っています。生きた餌しか食べないカエル類などには小さな昆虫を採ってきます。

多摩川自然情報館解説員
鎌田さん



メダカと一緒に
水草を育てて
観察しています

※多摩川自然情報館では多摩川漁協組合に加入しており、魚を採る許可を得ています



日本の在来種である
ニホンイシガメ

多摩川や自然に関する
質問はこちらへ



多摩川の土を活用した
ピオトープがあります。
何が育つかな?

多摩川好きの仲間が
広がっていくことが嬉しいです

情報館での飼育は、日々変化があり、観察できる生き物が全く同じという日がありません。私は、子どもの頃から山や川で生き物を観察することが好きでした。観察では、暑くても寒くても野外にいる時間が多いので、続けていくためには、よく食べよく寝て健康でいることが大切だと思います。

この仕事をしていて良かったことは、情報館の活動を通じて身近な生き物に興味をもつようになり、また！という声を利用者からいただいたことや、多摩川好きの仲間が広がったことです。

ぜひ、情報館に遊びに来てください。今まで何気なく見ていた自然環境に夢中になるかもしれませんよ。

多摩川自然情報館解説員
竹内さん



夢中になれることを
続けていくと
こんなにすごい!



※寄贈された標本が展示されています

多摩川の生態系の豊かさを
知ってほしいです

昆虫に夢中になったきっかけは、中学・高校の生物部の昆虫班で、採集を本格的に行っていたからです。昆虫は種ごとに大きさ、色、形などが異なり、種数も豊富で、採集を行っているときさまざまな個性を持った昆虫や予想しなかった昆虫に出会い、採れることもあるため、全く飽きることがありません。

現在は主に市内の多摩川沿いで採集を行っており、絶滅危惧種を含む316種の昆虫を採集しました。その標本を情報館に寄贈したことで、生物多様性保全を仕事としている方々に接する機会ができました。これからも多摩川の生態系の豊かさを広める活動を行っています。

生物部の高校生 石川さん



365日野草生活® のんさんで行く!

どんな野草が生えているかな? 野草を観察してみよう

多摩川自然情報館では、多摩川の自然を守り大切にしていける必要性をさまざまなイベントを通して伝えています。今回は、野草愛好家の365日野草生活® のんさんを講師としてお招きした、野草観察会の様子をレポート。野草に興味のあるたくさんの方が参加してくれました。



桑の実食べたこと
ありますか?

足元の野草は
どんな形をしているか
描いてみよう



この花の名前を
知っていますか?

シロツメクサの
ツメクサは、
緩衝用の詰め物に
使われていたことが
名前の由来です

この野草たちは
来年のこの時期にも
ここにあるはず



美味い!



野草を見つけることは「宝さがし」、植物は毎日変化するため飽きません

私は多摩川を中心に、日本全国で年100回ほど植物観察会を開催しています。サバイバル番組、クイズ番組、ドラマ、メディアでの植物の監修やYouTubeチャンネルへの出演、講演会登壇を通して、「身近な植物の面白さを広める活動」をしています。

会社員時代は、全く植物に興味になかった私が、365日野草生活をするようになったきっかけは、10年前に野草が好きなおさぎと一緒に暮らし始めたこと。もし災害で物流が停止したら、おさぎの餌は手に入るのだろうか疑問に思い、図鑑を片手に野草を学びはじめました。最初はおさぎの好物のタンポポやクローバーを探しに多摩川に行きましたが、そのころの私は図鑑と見比べても、植物の細かい違いが分かりませんでした。調べていくうちに、これは面白いぞと、野草に夢中になっていきました。

価値観が多様化する中で「好き」を貫くことは難しいかもしれませんが、熱中するものを見つけたときに、自身が興味関心を持っていることを客観的に見つめなおせます。好きなことであれば、時間を忘れるほど没頭し、継続して努力することができます。夢中になることで自身も成長できるのです。

365日野草生活®
のんさんの
Xはここから!



@365nityasou



参加しませんか? 環境・自然にふれる夏のイベント

●南方系の昆虫類を探せ! ~蛾の帝王と昆虫採集をしよう~

多摩川で見つけた昆虫類や近年温暖化などの影響で増えている昆虫類について楽しく解説します。

日 8月10日(土) 午前9時~11時(受付8時50分~)

場 多摩川自然情報館※小雨決行

対象 満3歳~小学生(3年生以下は保護者同伴)

講師 石川和宏(蛾の帝王)

定員 10組(多数抽選。保護者1人につき子ども2人まで)

費用 1人100円(保険料)

服装 歩きやすい服装、帽子、雨具、飲み物、タオル、筆記用具、虫かご、虫あみ

申し込み 7月22日(月)までに申し込みフォームから申し込み

主催 株式会社(調布市多摩川自然情報館運営等受託事業者)

問い合わせ 03-3406-1724(平日午前10時~午後5時30分)



●水辺の楽校「Gasa Gasa in 野川」

野川で手網を使った魚捕りなど、生き物の観察や川遊びを行います。

日 7月28日(日) 午前9時~ 園 佐須町4-1(祇園寺通り大橋脇の公園) 園 市内在住の小学生と保護者(同伴が必要。保護者も川に入ります)

定員 20人(多数抽選) 費用 1人100円(保険料)

服装 川に入るための靴(古靴可。長靴・サンダルは厳禁)、飲み物、帽子

申し込み 7月20日(土)までに申し込みフォームから申し込み

主催 調布水辺の楽校事務局・石川 ☎090-1811-4894



申し込みフォーム



申し込みフォーム



申し込みフォーム

夏休みのイベントはまだあります。4・5面をご覧ください▶